



1018

246

會社方法概算增補

會社方法概算增補
 借字、建築費用元價、利息、税金、手数料
 四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十
 受入、支出、代價金、額、入、費、部、分、先、納、金、附、録
 運、送、式、樣、簿、家、計、簿、金、一、時、計、簿、等
 七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十
 載、入、左、邊、入、簿

1365



414
A1016
2



會社方法概算増補

借家、建築費用元價、利子年一割四歩
四釐ヲ拾五々年ノ間相拂時、其家屋ヲ私
有スルヲ得ル定規ト雖モ新タニ落成ノ家屋ヲ買
受ケ又ハ代價全額ノ幾部分ヲ先納シテ期限
ヲ短縮シ或ハ借家中殘金ヲ一時皆納シテ私有
セシト願フ者アルハ其家賃減シ方割合一二ヲ書
載シテ左ニ證ス

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

大隈侯爵

規則、通り拾五ヶ年賦家賃ノ例

一等家屋建坪拾五坪

但五坪毎金七拾百積

此ノ建築入費

金千五拾圓

家賃一ヶ月

金拾五圓六拾錢

此一ヶ年分

金百五拾五圓五拾錢

此、拾五ヶ年分

合金千五百六拾八圓

一時皆納シテ其家屋ヲ私有セン事ヲ願フ

者アレハ代價減シ方割合

一金千五拾圓

建築入費元高

一金五拾五圓五拾錢

年利六ヶ月分

ノ金千百五圓五拾錢

是ヲ拾五年賦皆滿家賃ト比較スルハ

金千百六拾五圓五拾錢 減

家賃代價ノ半金ヲ初年一時ニ相納メ殘

高年ニ通常ノ割合ヲ以テ上納ヲ願フ者

割合

一金五百貳拾五圓

建築ノ費元金半高

一金貳拾六圓貳拾五錢

年々利息六ヶ月分

右一時相納ル金高

一金子百三拾四圓

右ハ家賃一月拾五圓ニ在殘元七年半ニ納ル金高

一金子六百八拾五圓少拾五錢

是ヲ拾五年賦皆滿家賃ト比較スルハ

金五百八拾五圓七拾五錢

減

借家拾年ノ間規則ノ通リ家賃相納メ

大 歳 自

殘金一時相納ル者ノ割合

一金千五百拾五圓

控ケ年家賃
納付之高

一金三百五拾圓

建築入費元
高ノ三分一

一金拾七圓五拾錢

利割前
同

ノ金千八百七拾九圓五拾錢

是ヲ控ケ年毎借家賃ト比較スルハ

金三百八拾八圓五拾錢

減

右一等家賃ノ經費ニ依テ割合ヲ定ムルニシテ

一時相納ル金高ノ多寡ニヨリ総テ此ノ算當ニ做ラ
減スヘシ

建築費用ノ金額又ハ幾部分ヲ初年ニ納ル分ニ會

社ノ出金ニ不關係直チニ何局へ上納スルト雖モ該局

家賃ハ一旦會社ノ手ヲ經テ本人へ授與スルヲ成規ト

為カ故ニ建築ノ費用ニ加ヘ名利子ノ半高ノ何局へ

收メシ半高ノ會社ノ借金トシテ返スヘシニテ年目ヨリ

一時相納ル分、既建築入費會社より出金ミタル後
ナルヲ以テ其納ル金額半數、何局へ收半數、會社
分附スルモ尤利子、分割、前異ナル事ナリ

此の条は、前記の通り、建築入費會社の金
額半數、何局へ收半數、會社分附スルモ尤利子、
分割、前異ナル事ナリ。此の條は、前記の通り、
建築入費會社の金額半數、何局へ收半數、會社
分附スルモ尤利子、分割、前異ナル事ナリ。

一、... ..
... ..
... ..
... ..